



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

観光が落ち込むなかで、小島嶼開発途上国(SIDS)は緊急支援を必要としている – UNWTO が警鐘

2020年6月29日付 UNWTO 本部発表の和訳です。

原文はこちらから：<https://www.unwto.org/news>

スペイン・マドリッド--強力な支援がなければ、観光の急で予想外の凋落が小島嶼開発途上国(SIDS)の経済に打撃を与える可能性があるとして、国連世界観光機関(UNWTO)は警鐘を鳴らしています。観光は多くの SIDS にとって、強力な社会経済の柱として位置づけられており、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がこのセクターに与えている影響により、女性や非正規労働者をはじめ、何百万の人々の雇用と事業を危機にさらされています。

UNWTO は、「第2回観光と新型コロナウイルス感染症に関する概要(Briefing Note series on Tourism and COVID-19)」で、SIDSにおいてパンデミックが**人々の生計に与え得る深刻な影響**を強調しました。UNWTO の最新データによると、**SIDS 38か国の大半の国において、観光が輸出総額の30%以上を占めています**。一部の国においては、この割合は90%にも達しており、それらの国ではとりわけ観光客数減少の影響を受けやすくなっています。

このような大きな衝撃は、**大量の失業**や為替相場の下落、税収の急激な減少につながり、そのことは公共支出を抑止し、危機を通じて**生計を支える**ための必要な措置の展開を妨げると、UNWTO は更に警鐘を鳴らしています。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

Please recycle



国際観光客到着数は最初の4か月間で47%下落

2019年に、SIDSは約4,400万人の国際観光客を受け入れ、同セクターは550億米ドルの輸出収入を得ました。しかし、国際観光客到着数は今年最初の4か月間で**47%減少**しました。

UNWTO ズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は「新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界的流行）は、前例のない混乱を引き起こしてきました。国際観光客到着数は大幅に減少しており、SIDSのように雇用と経済的福祉を観光に依存する国々が最も深刻な打撃を受けることとなります。そのため、これらの国々への新型コロナウイルス感染症の影響を緩和や、観光の回復を刺激するための対策が今、これまで以上に重要になっています。」と述べました。

最もリスクの高い非正規労働者と女性

国連は、2020年に世界経済が3%減少すると見込んでいますが、SIDSにおいては4.7%減少する可能性があるとして推定しています。

また、UNWTOの「第2回 観光と新型コロナウイルス感染症に関する概要」は、SIDSへの**観光客の急激な減少**により、非正規で働く人々が危険にさらされることを強調しています。セクターとして、観光は世界的にも主要な雇用主であり、国際労働機関(ILO)によると、SIDSが報告している大半のデータにおいて、宿泊・外食(food service)セクターにおける全労働者の半分以上が女性です。ハイチやトリニダード・トバゴ(70%以上)を含め、多くのSIDSにおいてこの割合は更に高くなっています。

同時に、新型コロナウイルス感染症の影響がSIDSや世界の他の低中所得国で影響を与える一方で、**非公式経済で働く労働者**たちが貧困に陥る危険性もあるとUNWTOは警鐘を鳴らしています。